

働ける人も働けない人も、

個別性が尊重される精神医療をめざして



2022

7/

14

木

15

金

合同
開催

2022

7/

16

土

17

日

会場

J:COM ホルトホール大分

会長

寺尾 岳

事務局

大分大学医学部精神神経医学講座

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

tel. 097-586-5823

事務局長：石井啓義

運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ 大分支社

〒870-0021 大分市府内町 1-3-18 ポラリス府内 405

tel. 097-529-6730 fax. 0977-26-7100

mail. jsmdrd2022@c-linkage.co.jp

「カボスの木」

寺尾 岳

(原画作者からの言葉)

人の横顔の中に2本のカボスの木を描きました。カボスはミカン科の常緑広葉樹またはその果実です。柑橘類の一種で、ピンポン玉くらいの実をつけます。江戸時代に京都から宗源という医師が苗木を大分県の白杵へ持ち帰ったことから、大分県内で栽培が広がり、現在では全国の9割以上を大分県で収穫しています。カボスの花言葉は健康です。絵の中には、まっすぐ立っている木と倒れそうな木がありますが、支え合ってカボスの実をつけています。

テーマを「働ける人も働けない人も、個別性が尊重される精神医療をめざして」にしましたので、その文脈から眺めると、まっすぐ立っている木が働ける人で、倒れそうな木が働けない人を象徴しているとも考えられます。どちらの木も自分のできる範囲で枝葉を伸ばし、実をつけることが出来ました。